

やさしい風が運ぶもの

～ギターとチェロの午後～

新倉瞳

Cello

©Yoshinobu Fukaya

出演

大萩康司(ギター)

新倉瞳(チェロ)

浦久俊彦(ナビゲーター)

プログラム

タレガ/アルハンブラの想い出

J.S.バッハ/無伴奏チェロ組曲

第1番より「プレリュード」

ピアソラ/オブリビオン

シューベルト/アルペジオーネ・ソナタ ほか

※曲目は変更になる場合がございます。

大萩康司

Guitar

©SHIMON SEKIYA

浦久俊彦

©新津保 建秀

2022 7/2 土

開場13:30/開演14:00

入場料 一般/4,000円 学生/1,000円

※未就学児入場不可 ※学生券は25歳以下対象
※車いす席はロゼシアターへお問い合わせください

【臨時バス運行のご案内】公演終了後、直通バスの運行を行います。ロゼシアター ▶ 新富士駅(220円) ▶ 富士駅(270円)

【ご来場のお客様へお願い】

●来館時は、マスクをご着用ください。●発熱及び風邪等の症状がみられる場合は来館をお控えください。●掲載内容を急きょ変更する場合がございます。最新情報はロゼシアターへお問い合わせください。

富士市文化会館ロゼシアター 中ホール (富士市蓼原町1750番地)

チケット発売日 [Web] 4月26日(火)10:00～ [窓口] 4月27日(水)10:00～
※ロゼシアターでお求めの際には「ロゼフレンドシップ」への登録が必要です。

チケット取扱い ●ロゼシアターホームページ <http://rose-theatre.jp>
●ロゼシアター窓口(営業時間9:00～20:00)
●ローソンチケット Lコード/41437 ローソン・ミニストップ店舗Loppi

お問い合わせ:ロゼシアター 0545-60-2500(9:00～22:00)

主催:公益財団法人富士市文化振興財団

ロゼシアター駐車場の収容台数には限りがございます。周辺店舗への駐車は大変迷惑となりますのでご注意ください。

やさしい風が運ぶもの ～ギターとチェロの午後～

大萩康司 (ギター)

Y A S U J I O H A G I

パリのエコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院で学ぶ。ハバナ国際ギター・コンクール第2位、併せて審査員特別賞「レオ・ブローウェル賞」を受賞。その後4年間イタリアのキジアーナ音楽院でオスカー・ギリアに師事し、4年連続最優秀ディプロマを取得。ギターを萩原博、中野義久、福田進一、キャレル・アルムス、アルベルト・ボンセ、オリヴィエ・シャッサンの各氏に、ソルフェージュを山田順之介、リュート、テオルボ、バロック・ギターをエリック・ベロックの各氏に、室内楽をラスロ・アダディ氏に師事。これまでにNHK「ららら♪クラシック」やMBS「情熱大陸」、テレビ朝日「題名のない音楽会」等メディアへの出演多数。

近年では2019年にNHK交響楽団(井上道義指揮)と「アランフェス協奏曲」を演奏し好評を博したほか、ラ・フォル・ジュルネTOKYO、セイジ・オザワ松本フェスティバル、霧島国際音楽祭、宮崎国際音楽祭等の代表的な音楽祭に定期的に招かれている。また、モスクワ、コロンビア、キューバ、台湾等での国際フェスティバルにもソリスト及びマスタークラス講師として招かれている。2020年にはデビュー20周年を迎えた。第6回ホテルオークラ音楽賞、第18回出光音楽賞受賞。洗足学園音楽大学、大阪音楽大学各客員教授。宮崎生まれ。

公式ウェブサイト <http://ohagiyasuji.com/>



©SHIMON SEKIYA



©Yoshinobu Fukaya

新倉瞳 (チェロ)

H I T O M I N I I K U R A

桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業、皇居桃華楽堂新人演奏会に出演し御前演奏を行う。その後スイスへ渡り、バーゼル音楽院ソリストコース・教職課程の両修士課程を最高点で修了。これまでに毛利伯郎、堤剛、Thomas Demenga、Martin Zaller (バロック・チェロ)の各氏に師事。国内外での受賞歴も多数、近年では第18回ホテルオークラ音楽賞、第19回(2020年度) 齋藤秀雄メモリアル基金賞 チェロ部門受賞。桐朋学園大学在学中にはEMI Music JapanよりCDデビューを果たし、これまでにEMI Music Japan から3枚のアルバム、アールンフィニ・レーベルより、最新CD「11月の夜想曲」～新倉瞳委嘱作品集(世界初演初録音)を含む5枚のアルバムが発売されている。現在はCamerata Zürichのソロ首席チェリストとしてスイスを拠点に活躍する中、ソリスト、室内楽奏者として全国各地でリサイタル、オーケストラとの共演を重ね、司会、番組ナレーション、音楽劇、演奏家のためのドレスM Maglie le cassetteのプロデュース等、活動の幅を広げ音楽の素晴らしさを広く深く伝えようとする姿勢は多くの共感を集めている。使用楽器は、宗次コレクションより貸与されたMatteo Goffriller (1710年製)。

公式ウェブサイト <https://www.hitominiikura.com>

浦久俊彦 (ナビゲーター)

T O S H I H I K O U R A H I S A

文筆家、文化芸術プロデューサー。一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、代官山未来音楽塾塾頭、サラマンカホール音楽監督、三島市文化アドバイザー。著書に『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』、『悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト』、『ベートーヴェンと日本人』(以上、新潮社)、『138億年の音楽史』(講談社)など。2020年6月に『フランツ・リストはなぜ～』の韓国語版が韓国で出版された。最新刊は指揮者・山田和樹との共著『オーケストラに未来はあるか』(アルテスパブリッシング)。2021年3月、サラマンカホール音楽監督として企画した『ぎふ未来音楽展2020』が、サントリー芸術財団第20回佐治敬三賞を受賞した。

公式ウェブサイト <http://www.urahisa.com>



©新津保 建秀